

特集

紅葉に彩られた古寺や仏像を訪ねる

# 錦秋の仏都会津へ

奈良・京都、鎌倉・平泉と並ぶ五大仏都の一つとされる会津。千年を超える古刹が点在し、田園の中に静かに立つお堂や土地の人々を見守ってきた御仏に各地で出会うことができます。この地に仏教をもたらしたのは、平安時代の僧・徳一でした。徳一の足跡や、美しい紅葉に彩られた古寺を訪ね、人々の素朴な信仰が今も息づく仏都会津を旅してみませんか。

会津 古川町 会津寺  
TEL: 0246-22-1031  
会津 湯川町 湯川寺 TEL: 0246-22-93101 湯川町 TEL: 0246-22-1001  
会津 湯川町 湯川寺 TEL: 0246-22-93101 湯川町 TEL: 0246-22-1001

# 会津観音様 めぐり

## 会津ころり三観音

日本最大級の千手観音と  
30体の眷属が一堂に並ぶ迫力

「会津ころり三観音」とは、会津西部に点在する立木、鳥追、中田の三観音の総称。これらをめぐると、邪念思いや怒り、不平不満の心が消し去られ、心の安らぎを得られるといわれている。詣れば「病を得ることなくころりと往生できる」とから、「ころり三観音」と呼ばれ、古くから信仰を集めてきた。

その一つ、会津坂下町の成寺にある「立木観音」は、日本で最大級の十一面千手観音として知られる。寺伝によれば、大同3年(808年)に弘法大師空海が観音菩薩の靈感を得て、1本のケヤキの大樹から千手観音を彫り出したと伝える。頭上に十二面をかかげ、左右に広がる無数

の手は、どのような人をも濡らさず救済する観音の慈悲と力の広大さを表しており、満願成就されるという御仏である。総高8.5mの立像はお堂の天井に付きそいうな大ききで、その足に触れられる距離にて拝観することができる。

観音様の左右には、信仰する者を守護する眷属の二十八部衆と風神雷神が並ぶ。「この形が正しいお祀りの仕方ですが、30体すべてが揃うのは当寺と京都の三十三間堂など数カ寺くらいです」と藤田住職。ケヤキやホオノキの一本道りで室町期の作といわれ、彩色も豊かだ。

ころり信仰のお参りが多かった昔に比べ、近年は奉納給馬の8割が子授け祈願だそう。本人だけでなく、その親が代参するケースもあるようだ。誕生から往生まで、会津の三観音は人生に寄り添う。



斗帳(並れ幕)の脇から入り拝観する。左右の壇には眷属の二十八部衆が並び、天を司る風神雷神がご本尊の頭部近くに配される。まるで一つの宇宙観を形成しているかのよう

## 御朱印の いただき方

最近「御朱印集め」が、神社仏閣をめぐる若い世代でちょっとしたブームとなっている。お参りしたその場で、自分のために直筆をふるってもらえる、いわば「一つとして同じものがない」スペシャル感と、鮮やかに押された朱印が魅力の一つといえるだろう。本来は、写経を寺に納めた証として授けられていたものが、いつの頃からか参拝の証として授けられることが多くなったという。

御朱印帳は大きな寺社や文具店などで購入できる。御朱印は、原則として参拝をしてからいただくのがマナー。ただ、参拝客が多い寺社などでは、あらかじめお参りをしておき、お参りを済ませたから受け取ることができるところもある。会津ころり三観音をはじめ、授け料は300円のところが多い。お寺の場合、納経所や朱印所、お守りの授け所などだけでなく、会津三十三観音の札所には住職がいない寺も多く、お堂に置いてある御朱印を自分で押したり、集客のお宅や近くの寺に伺っていただくケースも。御朱印を集めるにはかなりの根気と日数が必要と覚悟したほうがよいだろう。

最近では、信物と人々関係のない施設がスタンプラリー的に御朱印を発行していることも。本来の意味でもある「仏様や神様とご縁を結ぶ」ことを忘れず、御朱印をいただきたいものだ。



ブームを反映して、さまざまな御朱印帳が販売されている。会津ころり三観音の各寺では、無料の専用台紙も入手できる



1. 錦に彩られる秋の境内。観音堂前には観音堂落慶の記念樹と伝える、樹齢約800年のイチヨウの木が立つ(写真/藤野 映) 2. 賑やかに賑やかな人柄を感じる藤田東盛住職

## 会津 立木観音



河沼郡会津坂下町成寺字松原2944  
☎0242-83-3171  
拝観時間/9:00~16:00  
拝観料/300円  
回50台



参道の奥に建つのがご本尊の十一面千手観音を祀る観音堂。鎌倉時代の建久元年(1190年)の建立とされ、純粋な和様建築と豪華な茶室が特徴的。国の重要文化財に指定されている(写真/藤野 映)

薬師信仰とともに、古くから会津の人々の心の支えとなってきたのが観音信仰です。「会津ころり三観音」「会津三十三観音」には、今も多くの人がお参りに訪れています。のどかな山里や田園の中に佇むお堂をめぐり、心静かな時間を過ごしてみませんか。